

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	第1回 N o . 4 駅周辺まちづくり協議会
開 催 日 時	令和7年8月9日(土) 9時30分～11時40分
開 催 場 所	市民会館(さくらホール)会議室1・2
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：篠田委員長、石神委員、木村委員、富山委員、細田委員、 吉田委員、高山委員、比留間委員、宮崎委員 欠席者：諸星副委員長 事務局：都市計画課沿線まちづくり担当課長、同課主査(沿線まち づくり係)、同課主任(沿線まちづくり係)、同課主事 (沿線まちづくり係) 開催運営支援：株式会社フジヤマ
報 告 事 項	①協議会設置の趣旨等 ②地区の現況 ③地区のまちづくりの方向性
議 題	まちづくりに対する意見(期待、不安、留意点等)
結 論 (決定した方針、残 された問題点、保 留事項等を記載す る。)	会議の公開に関する取扱いについては、事務局案のとおりとする。 協議会の趣旨やまちづくりの方向性について確認した上で、まちづ くりに対する意見交換を行った。
審 議 経 過 (主な意見等を原則 として発言順に記 載し、同一内容は 一つにまとめる。) 〔凡例〕 ◎委 員 長 ○委 員 員 ●事 務 局 (市) ■ファシリテーター (株フジヤマ)	【副委員長の選出】 ◎ N o . 4 駅周辺まちづくり協議会設置要綱に基づき、諸星委員を 副委員長に指名する。 ○ 異議なし 【会議の公開に関する取扱いについて】 ● 事務局としては案の通り本協議会を公開したいと考えている。 武蔵村山市附属機関等の会議及び会議録の公開に関する指針に 基づき、本協議会の公開の可否と、公開することとなった場合の 詳細について決定したい。 ◎ 事務局案に対して意見はあるか。 ○ 異議なし ◎ 事務局案のとおり決定する。 【報告事項①】 ● 資料3に基づき報告 ○ 今回はなぜN o . 4 駅を抽出したのか。 ● 今後、N o . 5 駅、N o . 2 駅の順でまちづくり協議会を開催す る。N o . 1 駅に関しては都営村山団地の建て替えにより創出され た用地の土地利用が中心となるが、都有地であることから、東京 都と協議を行っている。N o . 3 駅に関しては、土地区画整理事業 を行っており、当該事業の進捗に合わせて検討していく。

- モノレールが動かなくなった時のリダンダンシー（多重性、冗長性）としてＪＲの昭島駅を活用するのが良いと思う。また、駅に直結する道路は顧客（乗降客）確保につながる所以で利便性を考え、しっかり道路を整備する必要がある。第４駅は他路線駅に繋げるのに適している。他都市と連携し幹線道路を設定すれば、乗降客を増やせるのではないか。今の計画では箱根ヶ崎から立川までの間で問題があったときに遠回りしないといけませんが、Ｎｏ．４駅から昭島駅に繋がるととても利便性が高まる。

- かなり大きな話だと考える。

今後、道路や交通をテーマとする回があるので、そこで改めて意見をいただければと思う。

- Ｎｏ．４駅の前はドラッグストアまでの道路は広いが、そこから先が急に狭くなっており、もったいないと感じる。

【報告事項②～③】

- 資料４～５に基づき報告

- 誘導施設の例の根拠は何か。これらの施設が立地する可能性があるということか。

- 誘導施設は立地適正化計画において定めている。

子育て世帯に来ていただきたいと考えているが、保育園自体は充足しているため、駅を使って出勤する際に子どもを預けられる送迎ステーションを誘導したいと考えている。

食料品店は日常の買い物ができれば大きな商業施設はいらないだろうという考えである。

また、運動交流施設や多世代交流施設は、「交流施設が欲しい」という意見が多いことを反映したものである。運動交流施設については、運動する時の拠点として、多世代交流施設は高齢化が進む中で若い人と交流できれば良いと考えている。

実際に誘導できるか分からないが、まずは、都市計画の見直しの中で、「建てられる」という環境を整えたい。

- 瑞穂町の多世代交流施設は、会議室の使い心地が良く、運営組織は第３セクターで、市の職員ではなく町民が応募し、職員として働いている。エントランスに置いてあるピアノもよい。都内では市民の提案で、行政との協働によりたくさんの施設ができている。

多世代交流について研究しているが、こうした施設は多世代が同じところに集まらなないと意味がない。そのためには、そこに集まった人のニーズを実現していくことが必要で、これが多世代交流施設の定義である。

- この後の意見交換におけるまちづくりに対する意見として整理させていただく。

【議題】まちづくりに対する意見（期待、不安、留意点等）

- 意見交換については、中立かつ公平な進行で議論が進められるよう、ファシリテーター（進行役）を株式会社フジヤマに依頼しているため、ここからの進行は株式会社フジヤマが行わせていただく。

- 現況等について事務局より説明があったと思うが、暮らしている中で感じる地域の状況をお聞きしたい。まずは地域の魅力を皆様から教えていただきたい。

- 伝統芸能（横中馬獅子舞）の発祥の地があり、伝統芸能を復活

させようという取組がある。例えば、不登校の子供達に魅力を伝えることで原動力になり、助けにもなるのではないか。私は三鷹の方から来たが、向こうにはそういった取組が一切ない。武蔵村山では多世代交流施設などで伝統を継承してほしい。

- 桜を守っていきたいが、桜を維持していくにはエネルギーが必要。山王森の緑も豊かであるが、公園に隣接する住民から「公園内の林から落ち葉が来るから枝を切ってくれ」と言われると、行政はそれに従って伐採してしまう。桜や緑を大事にしていく視点を持つ必要がある。

計画書に載らないような、目に見えないところでその継続性を確認していく必要がある。

- 日本は自然が豊かだが、きちんと手をかけて維持管理していかないと維持できない。行政も地域住民もそういった点を考えていけると良い。

- 地球環境が変わっていく中で自然環境を守っていくためにはお金もかかる。どこかで予算付けをしないといけない。

- 桜並木では樹木が50年くらいで寿命が来ているものも多いと思う。あの桜並木の土地は都の水道局が管理していると思うが、市が勝手に植樹しても良いのか。

- ◎ 土地自体は東京都水道局の所管で、管理は市が行っている。
樹木診断をしているが、多くが高齢化している。伐採しないと倒れてしまうので、今後、伐採することになる。どういったものを植樹していくかといったことも考えていく必要がある。

- これだけ自然が身近なのは他になかなかない環境である。こうした環境を自然教育や交流に活かしたい。

例えば、駅の周辺に自然観察の施設をつくり、それを起点として狭山丘陵へ行くような流れをつくったりできるとよい。

桜に関しては植え替えるという選択肢はあるのか。方針で「桜の街」と言われているのでこれを活用していく必要があるが、そこへ向けて伐採でなく段階的な植え替えが必要なのではないか。

グランピングなど、武蔵村山の魅力である自然を活かさせていけたらよいと思う。

- 仕事で都内（都心方面）に行って武蔵村山市に帰ってくると空気が違う。これを大事にしたい。

また、モノレールから山がきれいに見えるはずなので、これも大事にしたい。

駅から狭山丘陵に繋がる道がたくさんあるが、わかりにくい状況なので、少しずつ整備されるとよい。

- モノレールからの景色を守っていくことも大事だと思っている。

- 桜並木を守るためには古い木を植え替える必要があるが、一度にまとめて古木を伐採すると桜木の根元に生息するセミの幼虫等が失われて現在生存する多くのセミがいなくなってしまう、子供たちにとっての魅力を失ってしまう。新木への植替え、更新は生息への配慮をしてほしい。

- 地域の魅力だけでなく問題点についてもお聞きしたい。普段の生活からどのように感じるか。

- バスの運行路線が不便である。

ここはむらタクもMMシャトルも来ない。若い方は「歩けばいい」というが、高齢者には難しい。

西武立川など鉄道に直結する南北のバス路線がないのも不便である。三ツ藤は高齢化が進んでいるのでMMシャトルを運行して欲しいと依頼したが、難しいとのことだった。

私の地域はむらタクの申請もできないので、バス路線の改変をすぐにでも行ってほしい。

■ 地域の皆さんの足をどう確保するか、というのが大きな課題と考える。

■ 資料では地域の特徴として農地や緑が多い点が挙げられていたが、まちなかに農地があると建物を建てられないという面もある。このバランスを考えていくことも課題と考えるがどうか。

○ 武蔵村山は低層住宅地で鉄道もなく、ランドマークや拠点がない。そのため、バスもどこを拠点にしていいいかわからない。

駅ができることで道路も拡張するし、有益な建物も建てられるようになり、周りが動いていく。行政だけでなく、この周辺に住みたい・商売したいといった動きが出てくることを期待している。

野山北公園や武蔵野の街並み、桜などは私も好きだが、今のDNAを残しつつ、代謝していくことも必要ではないか。

例えばマンションができるなど、便利で多くの人が住めるような街になって欲しい。個の意見だけでなく、全体を見た上で検討できれば良いのではないかと思う。

■ 行政が建物そのものを建てることは難しいが、建てられるような環境を整えることが行政として行えることである。

■ 今後のまちづくりに期待することを聞かせていただければと思うのだが、例えば普段の生活で買い物はどうしているのか。

○ イオンは駐車場から中までが遠いので、日常の買い物は近所のスーパーやコンビニ、ドラッグストアなどを利用している。さっと寄れることが大事で、実際にそのような意見はよく聞く。

徒歩圏にスーパーがあれば住み続け、流出を抑制できると思う。就職すると通勤が不便で、他都市の便利さが分かるとどうしても出て行ってしまう。

子育て環境にはとても良く、祭り、獅子舞などもあって多世代交流がある。一度経験した人はその良さが分かるが、経験していない人には良さが分からないと思う。

また、この地域には総合体育館があり、利用者も多い。ここも上手く使えば良いのでは。

■ 駅ができると行動や行動範囲が大きく変わることになると思うが、不安などはあるか。

○ 不安なのは、各駅に特色がないことでただの通過点になってしまうことである。全国には駅前に伝統芸能などを示すようなところもある。一つひとつの駅にカラーをつけてほしい。例えば、手打ちうどんなどの特産物を活かしたい。

○ 道の駅のような施設を置くのも良いのではないか。

にぎわいの創出と地域の暮らしを支えるのがテーマなので、やはり特色がないとにぎわいに繋がらないと思う。

また、有名なゲームキャラクターのプロデューサーが本市出身なので、うまく連携することはできないか。マンホールの蓋などで特色を出す例もある。横田基地との連携など、地域住民と基地とが繋がれるようなものもあると良い。

付近の学校では定員割れしていたりもするので、子育て世帯などにも多く住んでほしい。

○ 開業済みの区間については、大学などがあれば学生の街になるが、他の鉄道との結節点以外は素通りになっている。

皆さんから具体的な意見が出ているが、これらの意見をどのよ

	うに形にしていくのかなと思っている。共通の意見は私も認識しているので、皆さんと考えていきたい。 これまでの話はまち全体の広い範囲の話だったが、No.4駅をどうしていくか。駅ごとに特徴をつけていかないといけないので、エリアをどのように計画していくのか、楽しみである。 ○ 本市にはおしゃれな図書館がない。瑞穂町では素晴らしい図書館が建設されているのだが、スペースがおしゃれで、飲食も可能なので10代が集まる。 また、きれいなスペースをきれいに保つというマナーはこういうところで育つと思う。 ■ 全国で魅力的な公共施設が出来ている。そういう施設が一つでもできれば良い。 ○ 駅前にはもう既に建物がたくさん建っているが、誘導施設は駅前に誘導するのか。 ■ 都市機能誘導区域のどこかに誘導するものであり、駅前またはその周辺の空いている場所になる。 ○ モノレールでは立川まで何分かかかるのか。私はバス停まで1分で、バスに乗ると30分で立川に行ける。 モノレール新駅まで10分、15分かかかるような場合は、バスの方が早いということもあるので、モノレールだと何分くらいかかるか知りたい。 ◎ No.4駅から立川までの所要時間で、公式に出されているものはない。上北台から立川までは14分程度である。 モノレールには渋滞がないので、定時制の確保はメリットである。 ○ 駅まで行く移動手段が一番大事だと思う。南北のバス路線や駐輪場があった方が良い。 【その他】 ● 次回は9月27日（土）を第一候補として調整することとし、日程は改めて連絡する。 本日の結果は「開催概要」としてHPに掲載する。皆様にはメールで通知する。 お手元にご意見提出用紙を配布しているので、言い残したこと等があれば記載していただく、またはメールでお知らせいただきたい。
--	---

会議の公開・非公開の別	■公開 ☐一部公開 ☐非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 傍聴者： 3 人 []
-------------	---

会議録の開示・非開示の別	■開示 ☐一部開示(根拠法令等：) ☐非開示(根拠法令等：)
庶務担当課	都市整備部 都市計画課（内線：279）